

平成30年度 全国保育士養成協議会  
東北ブロックセミナー 郡山大会

## 開 催 案 内

### ◇大会主題

保育現場における「保育の質の向上」と  
保育士養成校の役割・課題

—実習、就職、研修の側面を中心に—

期 日 平成30年11月24日（土）・25日（日）

会 場 郡山女子大学

〒963-8503 福島県郡山市開成三丁目25番2号

TEL : 024-932-4848

主 催 : 全国保育士養成協議会 東北ブロック

大会事務局 : 会津大学短期大学部

# プログラム

◇大会一日目 平成30年11月24日(土)◇

13:00~13:15 開会式

13:20~14:20 基調講演

講師：中村学園大学 教授 那須 信樹 氏

演題：保育者養成と育成の当事者による実質的な『対話』と『協働』を生み出す場づくりをめざして

概要 本講演では、「保育の質の向上」を図っていくための養成校と現場とで果たしうるそれぞれの機能や役割と、協働の態様等についてご提示いただきます。

また、保育界の情勢をふまえつつ、保育士養成の動向や課題等につきましてもお話いただきます。

14:20~14:40 休憩

14:40~17:30 シンポジウム(グループ討議等含む)

テーマ 保育現場における「保育の質の向上」と保育士養成校の役割・課題  
—実習、就職、研修の側面を中心に—

司会者…福島大学 教授 白石 昌子 氏

発題者Ⅰ…社会福祉法人わたり福祉会 さくら保育園  
前園長 斎藤 美智子 氏

発題者Ⅱ…社会福祉法人 児童養護施設 青葉学園  
常任理事 神戸 信行 氏

発題者Ⅲ…東北福祉大学 教授 和田 明人 氏

指定討論…中村学園大学 教授 那須 信樹 氏

概要 本シンポジウムでは、保育現場における「保育の質の向上」を図っていく上で、保育の現場・施設の現場から見た保育士養成のあり方と、保育士養成校側から見た養成教育の現状や課題について、それぞれ実習・就職・研修の側面から発題いただきます。基調講演でのお話を踏まえつつ、講師の先生には指定討論者として加わっていただいて議論を掘り下げ、参加者全員でのグループ討議も行いながら、今後の方向性と具体的方策を探り合います。

17:30～17:40 休憩

17:40～18:00 平成30年度全国保育士養成協議会東北ブロック第2回総会

18:30～20:00 情報交換会（於：郡山女子大学）

## ◇大会二日目 平成30年11月25日（日）◇

9:00～12:00 分科会

### 第1分科会 保育所実習における保育現場と保育士養成校の協働

司会者…郡山女子大学短期大学部 教授 小林 徹 氏

発題者Ⅰ…郡山市開成保育所 副所長 小桧山 久子 氏

発題者Ⅱ…学校法人 保原シャローム学園 認定こども園上保原  
園長 藤田 喬士 氏

**概要** 保育所実習は、学生がそれまでに学んだ知識や技能を現場で実際に活かす機会であり、専門職として働く自分をイメージする貴重な場面です。養成校と保育所が協力して人材を育てるはずの実習において今さまざまな課題が指摘されています。本分科会では実習指導の経験豊富な保育所からの発題を受けて、参加者の皆さんと共に、養成校と保育所が手を携えて実践力のある保育士を養成する道を探っていきます。

### 第2分科会 施設実習における保育現場と保育士養成校の協働

司会者…会津大学短期大学部 教授 市川 和彦 氏

発題者Ⅰ…社会福祉法人 児童養護施設 白河学園

副園長 鈴木 栄一 氏

発題者Ⅱ…社会福祉法人牧人会理事長 福祉型障害児入所施設  
白河めぐみ学園・白河こひつじ学園

園長 山下 勝弘 氏

**概要** 施設実習は、多くの施設種別があり、乳児から高齢期まで利用者の年齢層も幅広く、入所理由も様々なものがあるなどとても多様ですが、共通して実習前と実習後とで学生自身に大きな変化を生じさせます。本分科会では、現場で指導する立場の職員と養成校で指導する教職員とが本音で意見を述べ合う機会とし、それぞれの役割や課題を確認し、相互理解を深めながら協働の方向性と具体的方略を探り合っていくとともに施設保育の魅力についても確認しあいます。

### 第3分科会 就職における保育現場と保育士養成校の協働

司会者…福島学院大学 准教授 子育て支援センター長  
今 清孝 氏

発題者Ⅰ…創世福祉事業団 三育保育園 園長 山崎 麻弥子 氏

発題者Ⅱ…社会福祉法人いわき福音協会 障害者支援施設  
はまぎく荘 支援員 宍戸 寿成 氏

**概要** 全国的に保育士不足が問題となり、その要因が議論されています。その要因はいくつも挙げられ、同一労働同一賃金の地域格差の拡大、労働条件改善遅滞、18歳人口の減少、待機児童、入所児童・利用者の障害程度の重度化など、労働問題から児童及び利用者の発達の問題までさまざまに山積しています。こうした現状での保育士の就職について、保育現場と保育士養成校がどのように協働すれば解決していけるのかを共に考え、議論する場とします。

### 第4分科会 研修における保育現場と保育士養成校の協働

司会者…東北福祉大学 准教授 利根川 智子 氏

発題者Ⅰ…福島県こども未来局子育て支援課 佐久間 直子 氏

発題者Ⅱ…東北生活文化大学短期大学部 教授 三浦 主博 氏

**概要** 研修等における学びを通して保育士が専門性の向上を図り、保育所内で学びを共有して「保育の質」を高めていく必要があります。平成29年3月告示の保育所保育指針でも、資質・専門性の向上、キャリアパスに対応した研修計画の作成が求められています。一方で、保育所を取り巻く環境は厳しく、研修計画の作成には相当の工夫を要するのではないのでしょうか。こうした現状を踏まえ、本分科会では「保育の質の向上」に向けた保育所、関係機関、保育士養成校の相互理解と協働及びその方法についてご参加の皆様と考えていきます。

12:15～12:30 閉会式

以上